※令和４年度以降入学生用

学校番号	２２０１

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	国語表現②	単位数	２	年次	２～４
使用教科書	「国語表現」（大修館書店）国表７０１						
副教材等	「国語表現　基礎練習ノート」（大修館書店）国表７０１						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・文章記述、意見発表などの表現活動や、課題に対して、話し合いを通して周囲と協働して考える活動を行います。これらの活動に粘り強く取り組みましょう。
・自分の考えを伝えるための「書く能力」、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」を身に付けていきましょう。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

(1)　実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

(2)　論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3)　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、各期末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
後期	書いて説明する ［教材］ 文のつなぎ方 日常生活の正しい過ごし方 「私の虫類図譜」を作ろう	a：言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。 b：[書]「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組合せなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。 c：主体的に知識・技能を身に付けようとしたり、思考・判断・表現をしようとしたりしている。	ワークシート 小テスト 定期考査 記述の点検	成果物 ワークシート 定期考査 記述の確認	基礎練習ノート ワークシート 振り返りシート 記述の分析
	話し合いのレッスン ［教材］ 小論文とは何か 建設的な議論の進め方	a：話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。 b：[話/聞]「話すこと・聞くこと」において、論点を明確にして自分の考えと比較しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を吟味して自分の考えを広げたり深めたりしている。 c：主体的に知識・技能を身に付けようとしたり、思考・判断・表現をしようとしたりしている。	ワークシート 小テスト 定期考査 行動の観察	成果物 ワークシート 定期考査 行動の確認	基礎練習ノート ワークシート 振り返りシート 行動の分析
	書いてアピールする ［教材］ 自分を見つめて 効果的な自己 PR 志望理由を書こう	a：実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めている。 b：[書]「書くこと」において、読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 c：主体的に知識・技能を身に付けようとしたり、思考・判断・表現をしようとしたりしている。	ワークシート 小テスト 定期考査 記述の点検	成果物 ワークシート 定期考査 記述の確認	基礎練習ノート ワークシート 振り返りシート 記述の分析
	実社会に向けて ［教材］ 相手に応じた言葉遣い 面接にチャレンジ	a：自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b：[話/聞]「話すこと・聞くこと」において、自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫している。 c：主体的に知識・技能を身に付けようとしたり、思考・判断・表現をしようとしたりしている。	ワークシート 小テスト 定期考査 行動の観察	成果物 ワークシート 定期考査 行動の確認	基礎練習ノート ワークシート 振り返りシート 行動の分析

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　５０　）時間

・読むこと　…　（　　）時間